

英語	第2学年	三次市立塩町中学校	指導者 吉田 祐介
単元名	Unit 5 Earthquake Drill 「馬洗川の氾濫の危機！何を持って避難する？」		
本単元で育成する資質・能力		思考力・判断力，表現力	

- 1 日 時 令和3年10月20日（水） 6時間目
- 2 学年・学級 2年A組（男子11人 女子17人 計28人）
- 3 単元名 Unit 5 Earthquake Drill
(Here We Go! English Course 2 光村図書)

4 本単元を指導するにあたって

【単元観】

本単元は、have to～, don't have to～, 助動詞 must, must not, should, shouldn't を活用して災害時の対処法等を表現できるようにするという内容である。災害が起きたと想定し、避難の仕方や避難時に必要な物やその選択理由を述べる英文を作成して、グループで協議して発表することを単元末課題としている。1年次の My Project 3 での「情報収集」、2年次の Unit 2 での「インタビュー活動」、Unit 4 での「おすすめ施設紹介」で学習した題材を受けて、この Unit 5 では1年次よりもさらにレベルの上がった紹介文を表現することに発展させる。

中学校学習指導要領解説外国語編（平成29年）には、第2章第2節内容(1)〔思考力、判断力、表現力等〕(3)言語活動及び言語の働きに関する事項 カ 書くこと (ウ)「日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動」とある。本文では、登場人物が所属する学級で、地域で暮らす外国人に向けて、防災マニュアルを作成している。本校の生徒自身も防災に関して調べたり、必要な避難グッズを相互に説明したりすることで、防災への意識の向上や自分の考えを話したり書いたりして伝えることへの意欲の向上を目指す。

【指導観】

本校の研究テーマは『「主体的に学ぶ生徒の育成」～生徒自身が学習内容の深化を実感できる授業づくり～』である。個人思考したことをグループで共有したのちに、グループ活動で学んだことを自分の意見に取り入れて、自分の考えを深化させることに重点を置くことにしている。

課題を克服するために、事前に作成した英文をグループで意見交流させる。その際に、意見交流をする3つの視点〈①単語・英文法のミス、②英文の構成（内容のつながり、段落など）、③英文内容深化のための具体案〉を与え、英文がより詳しくなる手立てをグループ内で行わせる。指導者は安易に助言をするのではなく、生徒同士でより良い表現を引き出すような問いかけをする。思考したことを用いて再挑戦させ、表現の幅を広げさせる。グループ学習前後の英文の比較をさせることで、レベルの上がった自分に気付かせ、学習内容の深化を実感させ主体的に学ぶ生徒を育成したい。本時の授業を通して、英語の表現力を身に付けさせ、今後の学習につなげたい。

【基礎・基本の定着】

（１）習得すべき基礎・基本について

- have to~, don't have to~, 助動詞 must, must not, should, shouldn't を中心としたこれまでの既習事項を理解している。
- 聞き手が理解しやすいようナンバリングや接続詞を使用して、内容のつながりを意識して英語で書く。

（２）定着への手立て

- 授業中のパターンプラクティスと家庭学習において繰り返し練習させる。
- 英語で自分の意見と理由を書かせ、意見文のひな形を提示して、意見文の書き方の定着を図る。

5 単元の目標

- have to~, don't have to~, 助動詞 must, must not, should, shouldn't を中心とした既習文法を復習して、意見文作成に運用できる。
- モデル文の構成を理解し、自分が書く英文に生かすことができる。
- 聞き手に自分の意見を正確に伝えるために、具体的な事柄を入れて書くことができる。

6 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①have to~, don't have to~, 助動詞 must, must not, should, shouldn't の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ②have to~, don't have to~, 助動詞 must, must not, should, shouldn't 等の既習事項を活用して、防災について簡単な語句や文を用いて、まとまりのある英文を書く技能を身に付けている。 ③本文の動画視聴や音読をすることで、本文の内容や防災について理解している。	①事実や自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書いている。 ②自分の考えやその理由、友達の考えを聞いて思ったことなどを伝えながらグループで話し合っている。	①事実や自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書こうとしている。 ②自分の考えやその理由、友達の考えを聞いて思ったことなどを伝えようとしている。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい6つの能力を定めている。（重点◎）

塩町中学校区 6 能力				
カテゴリー 【学力の3要素】 《評価の3観点》	資質・能力			
【思考力・判断力・表現力等】 《思考力・判断力・表現力等》	①思考力・判断力 (筋道を立てて考え自分で決める力)	○	②表現力 (自分を表現する力)	◎
【学びに向かう力・人間性】 《主体的に学習に取り組む態度》	③課題発見力 (情報を活用し課題をつかむ力)		④コミュニケーション力 (関わる力)	
	⑤キャリア形成力		⑥感謝・貢献	

	(課題解決のために努力する力)		(他者に感謝し自分を役立てる力)	
--	-----------------	--	------------------	--

○思考力・判断力・・・助動詞や接続詞を的確に使用し、自分の考えを書くことができる。

○表現力・・・自分の考えに理由を付けて、相手により分かりやすく伝えることができる。

8 指導と評価の計画（全 11 時間）

次	学習内容 (時数)	評 価 価									
		知・技	思・判・表	主体的	評価規準 (評価方法)	資質・能力					
1	帯 Small Talk (ペア活動) ○本単元のパフォーマンス課題を知る。										
	「連日の大雨で馬洗川が氾濫してしまう…。避難に必要な物は？」 皆さんの生活に欠かせない塩町地域に流れる一級河川：馬洗川。ここ数日大雨が続き、警戒レベル3（＝高齢者等避難を発令する目安となる情報。河川の水位情報等を用いて避難の準備や自ら避難の判断）が発令されました。あなたの家に、洪水を経験したことがないアメリカ人留学生がいます。その人と避難所へ避難するために、英語で防災グッズを説明する必要があります。避難のために必要なそれぞれの防災グッズについて、理由と合わせて英語で3文以上書いて、グループで意見交流をしよう。										
	○書く力の評価指標を知る。										
	評価指標「書く力」(ルーブリック) <table><tr><td>A (素晴らしい)</td><td> ・ Bに達している。 ・ 9文以上（＝1つの防災グッズにつき3文以上×3種類分）書けている。 ・ 具体的な事柄や専門的知識を入れて詳しく書くことができる。 </td></tr><tr><td>B (良い)</td><td> ・ 9文（＝1つの防災グッズにつき3文）書けている。 ・ 既習文法、既習単語のミスがない。 ・ 友達から助言をもらい、本単元で学習した文法を用いた英文を作成することができる。 ・ まとまりのある内容になっている。 </td></tr><tr><td>C</td><td> ・ Bに達しない。 </td></tr></table>						A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 9文以上（＝1つの防災グッズにつき3文以上×3種類分）書けている。 ・ 具体的な事柄や専門的知識を入れて詳しく書くことができる。	B (良い)	・ 9文（＝1つの防災グッズにつき3文）書けている。 ・ 既習文法、既習単語のミスがない。 ・ 友達から助言をもらい、本単元で学習した文法を用いた英文を作成することができる。 ・ まとまりのある内容になっている。	C
A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 9文以上（＝1つの防災グッズにつき3文以上×3種類分）書けている。 ・ 具体的な事柄や専門的知識を入れて詳しく書くことができる。										
B (良い)	・ 9文（＝1つの防災グッズにつき3文）書けている。 ・ 既習文法、既習単語のミスがない。 ・ 友達から助言をもらい、本単元で学習した文法を用いた英文を作成することができる。 ・ まとまりのある内容になっている。										
C	・ Bに達しない。										
	○デジタル教科書のストーリー動画を視聴し、話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 (1)	○			ア③ (後日テスト)						
2	帯 Small Talk (ペア活動) ○have to ～， don't have to ～の意味・形・使い方を理解する。 ○新出文法を活用してオリジナル文を作成する。 (1)	○			ア① (ワークシート) ア② (ワークシート)						

3	帯 Small Talk (ペア活動) ○新出語句の発音と意味を確認し、教科書 P. 64 の本文を読んで、内容を理解する。 ○本文を音読する。 ○教科書 P. 65 の[Listen], [Speak], [Write]を行う。 (1)	○			ア③ (後日テスト) ア① (後日テスト)	①思考力・判断力 (活動の観察)
4	帯 Small Talk (ペア活動) ○must, must not の意味・形・使い方を理解する。 ○新出文法を活用してオリジナル文を作成する。 (1)	○			ア① (ワークシート) ア② (ワークシート)	
5	帯 Small Talk (ペア活動) ○新出語句の発音と意味を確認し、教科書 P. 66 の本文を読んで、内容を理解する。 ○本文を音読する。 ○教科書 P. 67 の[Listen], [Speak], [Write]を行う。 (1)	○			ア③ (後日テスト) ア① (後日テスト)	①思考力・判断力 (活動の観察)
6	帯 Small Talk (ペア活動) ○should, shouldn't の意味・形・使い方を理解する。 ○新出文法を活用してオリジナル文を作成する。 (1)	○			ア① (ワークシート) ア② (ワークシート)	
7	帯 Small Talk (ペア活動) ○新出語句の発音と意味を確認し、教科書 P. 68 の本文を読んで、内容を理解する。 ○本文を音読する。 ○教科書 P. 69 の[Listen], [Speak], [Write]を行う。 (1)	○			ア③ (後日テスト) ア① (後日テスト)	①思考力・判断力 (活動の観察)
8	帯 Small Talk (ペア活動) ○教科書 P. 70 の[Listening]の防災バッグに入れるものの説明から、説明しているものが何かを聞き取る。 ○生徒用タブレットを使用し、避難時に必要な防災グッズを検索して、自分にとって必要な物を3つ挙げ、日本語で理由を記入する。 (1)			○ ○	ウ② (活動の観察) ウ① (活動の観察)	

9	帯 Small Talk (ペア活動) ○避難に必要だと思うものを3つ選択し、理由も挙げる。 ○自分の考えを英文にする。 (1 / 2) ○グループで意見交流をする。 ○グループで収集した意見を、自分の英文に取り入れて書く。 [本時] (2 / 2)		○		イ① (ワークシート)	
			○		イ② (活動の観察)	
			◎		イ① (ワークシート)	②表現力 (ワークシート)
10	帯 英問英答 (ペア活動) ○全体の前で発表する。 (1)		◎		イ② (活動の観察)	②表現力 (活動の観察)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

友達の意見を取り入れて、相手により分かりやすい英文にすることができる。

(2) 観点別評価規準

イ①事実や自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書いている。

(3) 準備物

ワークシート、タブレット、モニター、英和・和英辞典

(4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 【資質・能力】 (評価方法)
導入	○指名された生徒はあいさつをする。 ○既習事項の確認をする。 ○本時のめあてを知る。	●あいさつ、調子、日付、曜日、時刻、天候について、適切な声、正しい発音で応答するよう促すことで、本時の英問英答の活動につなげる。 ◆発音等で詰まった場合、側に寄って支援する。 振り返り① 《既習事項の確認をする》 ●既に配付しているシートを出させ、have to~, don't have to~, 助動詞 must, must not, should, shouldn't の発音と意味の確認をする ○今日のめあてを確認しよう。 友達の意見を取り入れて、相手により分かりやすい英文にすることができる。	

	○例文を見せる。 ○例文を指摘した視点を確認する。	○I'll give your group a sheet. この3つの文章を見て、疑問に思ったことやおかしいなと思ったところを書いてみよう。 I'll give you 3 minutes. I take bottled water. I'm hungry. I want drink water. ●グループに1枚例文シートを配布し、それらの英文を訂正したり、英文を追加させたりする。 ☆1行目、何本か分からないから数字を入れて複数形にしよう。 ☆2行目, hungry でも分からんではないけど, thirstyの方が適切だね。 ☆3行目, want の後ろに to がないよ。 ☆3行目, 水は飲むだけじゃなくて、手や顔も洗いたいよね。 ○Please tell me about your discussion. ☆単語や文法にミスがあるかどうか。 ☆短い文章だったので、英文を追加してみました。 ☆これだけだと意味が分からないので、詳しくしてみました。							
展開	○この時間の評価指標を知る。								
	評価指標「書く力」(ルーブリック) <table><tr><td> A (素晴らしい) </td><td> ・ Bに達している。 ・ 9文以上 (= 1つの防災グッズにつき3文以上×3種類分) 書けている。 ・ 具体的な事柄や専門的知識を入れて詳しく書くことができる。 </td></tr><tr><td> B (良い) </td><td> ・ 9文 (= 1つの防災グッズにつき3文) 書けている。 ・ 既習文法、既習単語のミスがない。 ・ 友達から助言をもらい、本単元で学習した文法を用いた英文を作成することができる。 ・ まとまりのある内容になっている。 </td></tr><tr><td> C </td><td> ・ Bに達しない。 </td></tr></table>			A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 9文以上 (= 1つの防災グッズにつき3文以上×3種類分) 書けている。 ・ 具体的な事柄や専門的知識を入れて詳しく書くことができる。	B (良い)	・ 9文 (= 1つの防災グッズにつき3文) 書けている。 ・ 既習文法、既習単語のミスがない。 ・ 友達から助言をもらい、本単元で学習した文法を用いた英文を作成することができる。 ・ まとまりのある内容になっている。	C	・ Bに達しない。
	A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 9文以上 (= 1つの防災グッズにつき3文以上×3種類分) 書けている。 ・ 具体的な事柄や専門的知識を入れて詳しく書くことができる。							
B (良い)	・ 9文 (= 1つの防災グッズにつき3文) 書けている。 ・ 既習文法、既習単語のミスがない。 ・ 友達から助言をもらい、本単元で学習した文法を用いた英文を作成することができる。 ・ まとまりのある内容になっている。								
C	・ Bに達しない。								
	○グループで意見交流をする。	○From now, make a group. Talk about your sentences. Give your friends good advices. I'll give you 20 minutes. ●作成した英文をグループメンバーに音読して伝えるよう指示する。							

	○グループメンバーから得た助言を自分の作成した英文に加味して書き直す。	●全員でグループメンバー1人ずつのワークシートをチェックするよう指示する。 ●意見交流をする視点の観点〈①単語・英文法のミス、②英文の構成（内容のつながり、段落など）、③英文内容深化のための具体案〉を与える。 ●机間指導をしながら、1人につき必ず1つは助言を与えるよう促す。 ◆話し合いが頓挫しているグループがあれば、直接答えにつながらない程度の助言を与える。 ◆作成した英文について質問をし、引き出した答えを英文に加味するよう指示する。	
		振り返り② 友達からもらった意見を自分の英作文に追記し、深化させる。 ○ Make sentences in addition to your friends' advices. And make sentences about your friends' interesting idea. I'll give you 10 minutes. ●専門用語等英文で表すには難解な言葉があれば、簡単な日本語に置き換えるよう助言する。 ◆新たに得た発想を確認し、どこに取り入れたら深化できるか助言を与える。	
まとめ	○振り返り	振り返り③ 《本時の内容について、「誰の意見を聞いて、どのように変化したか」と「アドバイス前と後を比較して、どのように変化したか」をワークシートに記述させる》 ○Please write an evaluation sheet. ●本時の振り返りを記述させることで、自分が書いた	

	英文の深化を実感させる。 ☆〇〇君から単語のスペルや文法ミスを指摘してもらった。Eノートでしっかり練習して、正しく英文を書けるようになりたい。 ☆〇〇さんに助言をもらうことで、不定詞や助動詞を使用して、まとまりのある英文を書くことができました。 ☆助動詞を使えば説得力が増すことが分かりました。助動詞を使ったオリジナル文章を書く練習を頑張っていこうと思います。 ☆最初は理由の記述が少なかったけど、ナンバリングや不定詞を使うことで、英語で説明するためのコツをつかむことができました。	
○宿題，次時の確認	○Please collect your evaluation sheet from the back. Today's homework is to write sentences in English about your opinions. Tomorrow, ALTs will check your sentences.	

10 板書計画

学習のめあて 友達の意見を取り入れて、相手により分かりやすい英文にすることができる。		
Oct. 20 th (Wed) 14:20 sunny	1. Review 2. Group Work① 3. Group Work② 4. Rewriting 5. Evaluation	※机間指導をしているときに、良い点、気づいた点等があれば、板書に示して、生徒にポイントを知らせる